

平成 23 年 7 月 28 日

報道関係各位

**第 6 1 回福生七夕まつり****仙台へ届け!****「復興への願い」つなぐ七夕まつり。福生で開催****8 月 4 日(木)から 7 日(日)まで**

震災後、夏のイベントは自粛ムード。しかし、福生市の七夕まつりは、例年以上のパワーを集め、開催する。イベントコンセプトは「福が生まれるまちから元気を仙台へ」。61 年前、開催のきっかけとなった仙台市へ熱いエールを届ける。

開催の前提となる省電力対策にも趣向を凝らした。模擬店、飾りつけを LED 電球に変え、イベントの電源も発電機を使う。また、省電力のシンボルとして、「七夕まつりを冷やそう! 打ち水大作戦」を開催し、七夕会場全体を冷やす。当日は、秋葉原の打ち水で人気のメイドさん、15 人が応援に。

今年の福生の七夕まつりは、被災地、仙台への支援一色に染まる。

**「七夕トモダチ作戦」**

短冊と義援金をセットにしたワンコイン(500 円・5 ドル)募金。市役所、事業所、市民団体などの協力で、受付コーナーを設置、短冊と義援金をオール福生で集めている。当日も、コーナーを設置。短冊に願い事を書いてもらい、義援金を募る。

米軍のトモダチ作戦の写真展、自衛隊の被災地支援写真展、市職員のボランティア写真展も同時開催。

**「がんばろう仙台! がんばろう東北! チャリティーエイド」**

実行委員会とプロ野球 28 会が連携した企画。28 会の会長、中畑清氏によるトークショーとチャリティーオークション。オークションでは、ダルビッシュ、斉藤佑樹のサインボールなどが出品される予定。オークションで集まった義援金で、仙台の少年野球チームへ野球用具を送る。

**仙台の七夕かざりが駅でお迎え**

昭島市のモリタウン内に飾ってあった仙台でつくられた和紙の七夕飾りが、モリタウンの協力により、七夕期間中、福生駅のペDESTリアンデッキに飾られることとなった。本場、仙台の七夕飾りが、福生に初お目見え。福生駅で来場者をお出迎えする。

**交流自治体 登別市・守山市も参戦**

福生市と同じ年に市になった北海道登別市、滋賀県守山市は、交流自治体として、毎年、お互いに 3 市の職員を派遣し合う関係。今回、両自治体は、七夕トモダチ作戦にも参戦。初日のオープンセレモニーには、両市長も出席し、共に仙台へエールを送る。

また、観光案内所「くるみるふっさ」では、両市の職員が、地元の名産、名物をアピールする。

**義援金付スタッフポロシャツを作成**

ポロシャツは、紺地に白い七夕をデザイン。肩には、「RISE AGAIN JAPAN」の文字、背中に「元気を仙台へ」とコンセプトを入れた。

**問合せ**

福生七夕まつり実行委員会事務局(シティセールス推進課産業活性化グループ)

電話 0 4 2 - 5 5 1 - 1 6 9 9 (直通)